

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

## 2018年文学部教育学科研究活動報告

雑誌名	東洋大学文学部紀要．教育学科編
巻	44
ページ	75-91
発行年	2019-03
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1060/00010815/">http://id.nii.ac.jp/1060/00010815/</a>

## 2018年文学部教育学科研究活動報告

(2018年1月～12月)

### 板橋雅則

#### <研究活動>

#### 【共著：分担執筆】

1. 板橋雅則「第6章 指導体制と担当者」吉田武男監修・田中マリア編著『道德教育(MINERVAはじめて学ぶ教職12)』ミネルヴァ書房、2018年5月、55-64頁。

#### 【論文】

1. 板橋雅則「中学校における特別活動の実践上の特質と課題」東洋大学文学部教育学科『東洋大学文学部紀要』第71集教育学科編XLIII、2018年3月、1-10頁。
2. 板橋雅則「総合的な学習の時間における人権教育実践の特質」滝沢和彦編著『平成29年度大正大学における教育連携事業報告書』、2018年3月、63-73頁。

#### 【学会発表】

1. 板橋雅則「人間関係形成能力を育成するための道德教育に関する一考察」日本道德教育学会第92回大会(金沢工業大学)、2018年11月4日。

#### <教育活動>

#### 【学内】

(学部) 道德教育論、特別活動の理論と方法、教職実践演習

#### 【学外】

大正大学「道德教育の指導法」  
國學院大學栃木短期大学「道德教育の理論と実践」  
淑徳大学「特別活動の指導法」  
慶應義塾大学通信教育部「特別活動」

#### <学会活動>

関東教育学会(会計監査)  
教育史学会(会員)  
日本教育方法学会(会員)  
日本道德教育学会(会員)  
日本特別活動学会(会員)  
日本倫理道德教育学会(会員)  
教育実践学会(会員)  
関東教育学会(第66回大会準備委員会 委員)

### 伊藤 摂子

#### <研究活動>

#### 【論文】

1. 「小学校外国語活動における英語使用量について—学級担任の英語使用量に対しての児童への意識調査—」『東洋大学文学部紀要』第43集 教育学科編 XLIII、2018年3月、pp.11-22
2. 「小学校新学習指導要領における【文及び文構造】についての指導への見解 —教材 *Hi, friends!* の構造分析から文の学びを考える—」『英語教育』2018年11月号、大修館書店、pp.68-69

#### 【学会発表】

1. 「絵本 *Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?* を使った外国語活動 —児童の負荷と理解して楽しむことの重要性を考える—」日本英文学会(ELSJ)第90回全国大会(東京女子大学)2018年5月
2. 「経年調査から得られた【習熟度を測るためのテスト問題】への示唆 —テスト問題の内容や形式に関して—」小学校英語教育学会(JES)第18 長崎大会(長崎大学)2018年7月
3. 「小学校外国語活動における文法指導について —副教材『Hi, friends!』の構造分析から考察する文法についての学び—」全国英語教育学会(JASELE)第44 京都研究大会(龍谷大学)2018年8月

#### 【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究 2015年度—2018年度) 研究分担者「小学校英語教育のための大学英語教材開発」(研究代表者: 明星大学 高橋和子)

#### 【講演等】

1. 「小学校外国語活動のためのポイント講座」、東洋大学、2018年6月9日
2. 文京区外国人おもてなし英会話講座(全8回)、東洋大学、2018年10月～12月
3. 「東京都小学校英語教育中核教員養成講座」、

(6 講座) 東洋大学、東京都教職員研修センター、2018年7月、8月、12月

4. 「外国人のおもてなし語学ボランティア英会話教室」、Next Athlete Forum 2018、東洋大学総合スポーツセンター、2018年10月

#### <教育活動>

##### 【学内】

(学部) 小学英語教育法、小学英語特講、大学生として学ぶ(一部、二部)、教育学演習I(一部、二部)、初等教育実践演習  
伝統文化講座 (通訳翻訳補助)  
スピーチコンテスト審査員 (学部内選考)

##### 【学外】

1. 外国語活動指導法研究1・2 (明星大学)
2. 初等英語活動概説A・B、初等英語活動指導法A・B (学習院大学)

#### <学会活動>

1. 小学校英語教育学会 (会員)
2. 児童英語教育学会 (会員)
3. 関東甲信越英語教育学会 (会員)
4. 全国英語教育学会 (会員)
5. 大学英語教育学会 (会員)
6. 全国語学教育学会 (会員)
7. 日本英文学会 (会員)

#### <社会的活動等>

1. 2018年度学校評議委員 東久留米市立第七小学校

## 榎 本 淳 子

#### <研究活動>

##### 【著書】

1. 榎本淳子 (2018). 身体運動の発達／対人関係の発達 渡辺弥生・西山久子(編著) 必携：生徒指導と教育相談 (pp. 45-55) 北樹出版

##### 【論文】

1. 榎本淳子・水野芳子・岡嶋良知他 (印刷中). 成人先天性心疾患患者の就業状況とその背景要因 日本小児循環器学会雑誌
2. Ko, J. M., White, K. S., Kovacs, A. H., & Tecson, K. M., et al. (2018). Physical activity-related drivers of perceived health status in adults with congenital heart disease. *American Journal of Cardiology*, 122, 1437-1442.
3. Holbein, C.E., Fogleman, N.D., Hommel, K.,

& Apers, S., et al. (2018). A multinational observational investigation of illness perceptions and quality of life among patients with a Fontan circulation. *Congenital Heart Disease*, 13, 392-400.

4. Moons, P., Kovacs, A. H., Luyckx, K., & Thomet, C., et al. (2018). Patient-reported outcomes in adults with congenital heart disease: Inter-country variation, standard of living and healthcare system factors. *International Journal of Cardiology*, 251, 34-41.

##### 【学会発表】

1. Enomoto, J. (2018). Employment status and psychosocial issues among adults with congenital heart disease in Japan. Working Group “Neurodevelopment and Psychosocial Care from Fetus to Adult” Association of the European Pediatric Cardiologists (AEPC) Biannual Conference. (Leicester, UK)
2. 榎本淳子 (2018). 成人先天性心疾患患者の就業状況とその背景要因 第54回日本小児循環器学会総会・学術集会 (横浜)
3. 榎本淳子 (2018). 成人期への移行—発達の視点から— 第56回全国大学保健管理研究集会 (招待講演：東京)

##### 【研究助成】

1. 科学研究費補助金基盤研究C (平成29年度—32年度)「先天性心疾患患者のキャリア発達モデルと就労支援ツールの開発」(研究代表 榎本淳子)

#### <教育活動>

##### 【学内授業担当】

(学部) 教育心理学, 生徒指導論, 生徒指導研究, 教育学演習ⅡA/ⅡB, 教育学演習ⅢA/ⅢB, 教育学卒論ゼミナール

##### 【学内授業担当】

(大学院) 心理査定法特殊講義A 教育相談特殊講義

#### <学会活動>

日本教育心理学会 (会員, 年報編集委員)  
日本発達心理学会 (会員)  
日本心理学会 (会員)  
日本心理臨床学会 (会員)

日本小児循環器学会（会員）  
 日本成人先天性心疾患学会（会員，評議員）  
 International Society for Adult Congenital Heart Disease（member）  
 ＜社会的活動＞  
 千葉県循環器病センター 臨床心理士

## 緒 方 登士雄

＜教育活動＞

### 【学内】

（学部）肢体不自由児・者の教育臨床、肢体不自由児の指導法、知的障害児・者の心理と臨床、通常の学級における特別支援教育の実践研究、特別支援学校教育実習、教育学演習

（大学院）発達障害児臨床心理研究特殊講義、教育学特殊研究、教育学研究指導

＜大学・学部管理運営活動＞

1. 教育学科長（初等教育専攻長）
2. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室相談員

＜学会活動＞

日本心理臨床学会（理事）、日本リハビリテーション心理学会（理事）、日本臨床動作学会（常任理事・事務局長）、日本教育心理学会（会員）、日本発達障害学会（会員）、日本心理学会（会員）、日本特殊教育学会（会員）

＜社会的活動等＞

1. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室相談員、九州大学大学院人間環境学府附属「発達臨床心理センター」研究員、青山学院大学大学院教育人間科学研究科附置心理相談室面接指導員、日本臨床心理士会会員
2. 社会貢献センター講師派遣事業 講演「障がい児・者への発達支援—豊かなコミュニケーションを育むために—」千葉県立湖北特別支援学校
4. 講演「動作を通じた発達支援の実践」（在籍児童生徒への実技指導と教員への講演）埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校

＜その他＞

研究報告書 人間科学総合研究所特別予算「発達臨床相談における相談員の研修と相談支援活動」

## 勝 田 光

＜研究活動＞

### 【著書】

1. 勝田光（2019）『中学生の書く行為に着目した国語科における読者反応の支援』風間書房（211頁）

### 【論文】

1. Katsuta, H. (2018). The value of studying words and deeply thinking using semantic maps in a Japanese reading class. *Journal of Southeast Asian Education*, 2, 11-18.
2. 勝田光・澤田英輔（2018）「リーディング・ワークショップによる優れた読み手の育成—1時間の授業過程の分析—」『国語科教育』全国大学国語教育学会、第84集、58-65.

### 【その他】

1. 勝田光（2018）「展望らいぶらりい ことばを選ぶ、授業が変わる！」『教育展望』第64巻第10号、p.62

### 【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業（若手研究（B）2017-2019年度）「国語科におけるブッククラブの指導方法による授業研究：物語創作活動の効果に着目して」（研究代表者：勝田光）
2. 日本学術振興会科学研究費助成事業（研究成果公開促進費 2018年度）「中学生の書く行為に着目した国語科における読者反応の支援」（研究代表者：勝田光）

＜教育活動＞

### 【学内授業担当】

（学部）国語科指導法Ⅰ（1部、2部）、国語科指導法Ⅱ（1部、2部）、初等科国語、初等教科教育法（国語）、教育実習Ⅰ（1部）、教職実践演習（中・高）（2部）、教育学演習Ⅰ（2部）、教育学演習Ⅱ（1部）、教育学卒論ゼミナール（1部、2部）

（通信）国語科指導法Ⅱ

＜大学・学部管理運営活動＞

1. 文学部カリキュラム検討委員会（委員）
2. 文学部グローバル化推進委員会（委員）

＜学会活動＞

1. 全国大学国語教育学会（会員）
2. 日本国語教育学会（会員）
3. 日本読書学会（会員）

- |  |   |
|--|---|
| 4. 人文科教育学会 (会員)                            | 日本カリキュラム学会 会員                             |
| 5. 筑波大学教育学会 (会員)                           | 日本教材学会 会員、                                |
| 6. 九州国語教育学会 (会員)                           | 日本学校音楽教育実践学会 会員                           |
| 7. 関東教育学会 (会員)                             | 日本民俗音楽学会 会員                               |
| 8. 長崎大学国語国文会 (会員)                          | 日本質的心理学会 会員                               |
| 9. International Literacy Association (会員) | 日本臨床教育学会 会員                               |
| 10. Literacy Research Association (会員)     | American Educational Research Association |
| 11. 関東教育学会(第66回大会準備委員会 委員)                 | 会員  |

## 桂 直 美

### <研究活動>

#### 【論文】

1. 「初任期における若手教師の経験と成長のモノグラフ (2) —第2回インタビュー調査の分析を通して—」『大分大学教育学部研究紀要』第40巻第1号、2018年、81-96頁、(伊藤安浩、桂直美、高井良 健一の共著)
2. 「芸術教育の授業構成論に関する研究:デューイの芸術哲学を軸とした理論と実践」(博士論文)筑波大学大学院人間総合科学研究科(未公刊)

#### 【その他】

「アメリカのスズキ・メソッド～あるニューヨーク公立学校のスズキ・メソッド見聞録～」『Suzuki Method』公益社団法人才能教育研究会、No. 201, 2018 (2)、pp. 50-53

#### 【研究助成】

日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究(C)) (2018年度—2021年度)「教師教育における美的教育プログラム—協同表現の教育の授業構成—」(研究代表者)

### <教育活動>

#### 【学内担当授業科目等 (学部)】

初等科音楽、初等教科教育法 (音楽)、教育課程論、教育学演習2・3、初等教育実践研究BB、教育学演習1、卒論ゼミナール

#### 【学内担当授業科目等 (大学院)】

授業分析論特殊講義、教育学研究指導XI、音楽科教育研究演習

### <学会活動>

#### 【所属する学会】

日本教育方法学会 会員  
日本教育学会 会員  
日本音楽教育学会 会員  
日本デューイ学会 会員、

## 北 澤 俊 之

### <研究活動>

#### 【論文】

1. 「子どもの『とらえ直し』についての研究」—ユーモアの発現に着目して—『日本美術教育研究論集』第51号、pp.1-10、2018.3

#### 【研究発表】

「身近な事物をとらえ直すためのプログラムの研究」—アート・ゲームの実践を通して—、第51回日本美術教育研究発表会、東京家政大学、2018.10.14

#### 【展覧会】

「WAの会展」、ギャラリー2104 (南青山)、2018.9.6~11

#### 【研究助成】

科学研究費基盤研究C (平成28~30年度)「身近な世界との関係を編み直すための造形教育プログラムの開発」(研究代表者 北澤俊之)

### <教育活動>

(学部) 初等図画工作 (2コース・0.5コマ)、初等教科教育法 (図画工作) (2コース・0.5コマ)、授業論 (0.5コマ)、初等教育実習ⅠⅡ (0.5コマ)、教育学演習ⅡAB・ⅢAB (1部・1コマ)、教育学演習ⅡAB・ⅢAB (2部・1コマ)、教職実践演習 (1部・0.5コマ)、初等教育実践研究BA (0.5コマ)

(大学院) 図画工作・美術教育研究演習 (0.5コマ)  
(通信) 教育実習ⅠⅡ (0.5コマ)

### <学会活動>

日本美術教育連合 (事務局長)、造形教育センター (アーカイブ委員)、全国大学造形美術教育教員養成協議会 (監事)、美術科教育学会 (会員)、大学美術科教育学会 (会員)

### <社会的活動等>

1. 平成30年度 文京区立柳町小学校学校関係者



評価委員会委員長

2. 開隆堂 図画工作教科書編著者
3. 大田区小学校教育研究会 図工部会講師（大田区立新宿小学校、2018.6.27）
4. 江戸川区小学校教育研究会 図工部会講師（江戸川区立江戸川小学校、2018.9.20）
5. 平成30年度「竹内博先生を囲む会（多摩美教職の会）」講演（東洋大学、2018.9.30）
6. 江東区小学校教育研究会 図工部会講師（江東区立亀高小、2018.10.3）
7. 毎日新聞社主催全国児童画コンクール審査員（2017.10.20）
8. 家の光協会主催世界こども図画コンテスト審査員（2017.10.27）
9. 利島村第2回事例研修会 講師（東京都利島村立利島中学校、2018.12.12）

## 吉 良 直

<研究活動>

### 【論文】

1. 吉良直（2018）「米国初等中等教育法の最新の再改定法（ESSA）の制定背景—連邦政府の権限拡大をめぐる二大政党間の対立と妥協—」『比較教育学研究』第56号、91-112頁。
2. Omomo, Toshiyuki & Kira, Naoshi. (2018) Policy Formation and Implementation of School Choice Reform in Japan: An Example of Local Adaptation of Educational Borrowing. *Bulletin of Gakushuin Women's College* (『学習院女子大学紀要』) No. 20, pp. 15-32.

### 【著作】

1. アメリカ学会編（2018）『アメリカ文化事典』丸善出版。分担執筆（「セサミ・ストリート」、398-399頁）。

### 【翻訳】

1. ジャック・ジェニングズ著、吉良直・大桃敏行・高橋哲訳（2018）『アメリカ教育改革のポリテクス—公正を求めた50年の闘い—』東京大学出版会。分担翻訳：前書き、序章、第Ⅱ部（5章、6章）、第Ⅳ部（10章、11章）、終章、エピローグ、付録年表、謝辞、著者紹介／代表執筆：翻訳者解説。

### 【学会発表】

1. 「すべての生徒が成功する法（ESSA）」に関

する研究—米国における同法制定の意義と背景に着目して—」日本比較教育学会第54回大会（東広島、6月24日）。

### 【研究助成】

日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B））「教育に関するリフレクションと業績評価に資するティーチング・ステートメントの研究」研究分担者（研究代表者：栗田佳代子）

<教育活動>

### 【学内】

（学部）「教育学概論」（1部初等教育専攻、人間発達専攻、2部）、「社会文化史（西洋）／教育史学説B」（1部、2部）、「教育思想」（1部、英語開講）、「教育思想」（2部）、「教育学演習I」（人間発達専攻）、「教育学ゼミナールII」、「教育学ゼミナールII」、「教育学卒論ゼミナール」

（大学院）「教育学説研究特殊講義」（英語開講）、「教育学説研究特殊講義A・B」（英語開講）、「教育学研究指導VII」（英語開講）、「教育学研究指導VII A・B」（英語開講）、「教育学特殊研究II」、「教育学特殊研究II A・B」、「教育学研究指導II」、「教育学研究指導II A・B」

<学会活動>

日本教育学会 会員  
日本比較教育学会 会員  
日本教育哲学会 会員  
日本デュイ学会 会員  
日本教育行政学会 会員  
大学教育学会 国際委員会委員（2017年8月～）  
アメリカ教育史研究会 会員  
Comparative and International Education Society 会員

## 栗 原 久

<研究活動>

### 【学会発表】

1. 栗原久「新科目「公共」の科目構造—学習指導要領の理解と実践上の課題—」第29回日本公民教育学会全国研究大会（宮崎大会）シンポジウム、2018年6月10日。
2. 栗原久「今次の学習指導要領改訂」第39回日

本公認会計士協会研究大会徳島大会, 2018年9月14日。

3. 猪瀬武則・山根栄次・栗原久・宮原悟・高橋桂子・服部一秀・小貫篤「18才選挙権時代の経済教育内容開発—構成の論理とカリキュラム概要—」全国社会科教育学会第67回全国研究大会(山梨大会), 2018年10月21日。

#### 【研究助成】

1. 研究分担者・栗原久「18歳選挙権時代の政策決定能力を育成するAL志向の経済教育プログラム開発」(研究代表者・猪瀬武則日本体育大学教授, 平成29~31年度, 基盤研究(B))
2. 研究分担者・栗原久「新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究」(研究代表者・谷田部玲生桐蔭横浜大学教授, 平成29~31年度, 基盤研究(B))

#### 【その他】

1. 栗原久「三段階の討論授業で『選択・判断できる力』を育てる」『社会科教育No.705』明治図書, 2018年1月。
2. 栗原久「中学校新学習指導要領金融経済教育のポイント①」日本証券業協会「先生向けメールマガジン」[http://www.jsda.or.jp/manabu/web\\_curriculum/mailmagazine.html](http://www.jsda.or.jp/manabu/web_curriculum/mailmagazine.html), 2018年2月8日。
3. 栗原久「中学校新学習指導要領 金融経済教育のポイント②」日証協「先生向けメールマガジン」2018年3月15日。
4. 栗原久「主権者教育と金融経済教育」日証協「先生向けメールマガジン」2018年3月29日。
5. 栗原久「市場とは需要と供給が会う場所」日証協「先生向けメールマガジン」2018年5月10日。
6. 栗原久「いつの間にか誘導されているかも? ~行動経済学 ナッジ~」日証協「先生向けメールマガジン」2018年7月12日。
7. 栗原久「高等学校新学習指導要領 金融経済教育のポイント①」日証協「先生向けメールマガジン」2018年8月30日。
8. 栗原久「高等学校新学習指導要領 金融経済教育のポイント②」日証協「先生向けメールマガジン」2018年9月13日。
9. 栗原久「クイズ&ゲームで脳内をアクティブにして『深い学び』の実現を」『社会科教育

No.715』明治図書, 2018年11月。

#### 【講演会】

1. 栗原久「消費者教育推進の背景と意義及び小中学校で留意すべき事項」岩手県立県民生活センター「平成30年度小中学校消費者教育研修会」2018年6月19日。
2. 栗原久「新学習指導要領での公民科教育—新科目「公共」を中心に—」東京都公民科・社会科教育研究会「6月研究例会」2018年6月28日。
3. 栗原久「新学習指導要領で求められる金融教育」日本証券業協会「平成30年度教育関係者向け『金融・経済セミナー』」2018年8月1日。
4. 栗原久「高校新学習指導要領を読み解く」経済教育ネットワーク「先生のための『夏休み経済教室』in名古屋」2018年8月3日。
5. 栗原久「学校における金融教育の必要性について」日本証券業協会「教育関係者向け金融・証券体験プログラム」2018年8月8日。
6. 栗原久「高校新学習指導要領を読み解く」経済教育ネットワーク「先生のための『夏休み経済教室』in東京」2018年8月10日。
7. 栗原久「消費者教育推進の背景と意義及び中学校で留意すべき事項」岩手県立県民生活センター「平成30年度小中学校消費者教育研修会」2018年8月21日。
8. 栗原久「新学習指導要領における公民科の授業—新科目「公共」をめぐる—」埼玉公民科教育研究会「第8回研究会」2018年9月22日。
9. 栗原久「新学習指導要領とエネルギー環境教育—公民科の視点から—」「平成30年度産学ダイアログ: 未来志向のエネルギー環境教育を考える」2018年11月20日。

#### <教育活動>

##### 【学内】

(学部) 教育学演習Ⅰ, 教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ, 教育学卒論ゼミナール, 社会・公民指導法Ⅰ・Ⅱ, 教育実習Ⅰ・Ⅱ, 教職実践演習

(大学院) 学習指導論特殊講義・教育学研究指導Ⅴ, 教育学特殊研究・教育学研究指導

(通信) 教職実践演習

##### 【学外】

明治大学「社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ」

## &lt;大学・学部管理運営活動&gt;

1. 文学部カリキュラム検討委員会委員
2. 教職センター運営委員

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本社会科教育学会評議員, 学会誌編集長
2. 日本公民教育学会会長

## &lt;社会的活動等&gt;

1. 日本証券業協会「金融・証券教育支援委員会」委員。

**斎藤里美**

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 斎藤里美「人工知能時代における外国語学習の意味—AI機械翻訳と対話ロボットを通して考える—」、日中対照言語学会『日中言語対照研究論集』第20号、2018年5月16日、pp.21-35.
2. 松原聡・斎藤里美・藤井大輔・小河智佳子「武雄市「ICTを活用した教育」による効果の検証（2）—「スマイル学習」への意識とその経年変化を中心に—」、東洋大学現代社会総合研究所『現代社会研究』第15号、2018年3月10日、pp.65-74.

## 【監訳・翻訳】

1. 木下江美・布川あゆみ・斎藤里美訳、OECD編著『移民の子どもと世代間社会移動—連鎖する社会的不利の克服に向けて—』明石書店、2018年10月11日、pp.3-10、pp.25-48. (原著: OECD [2017] *Catching UP? Intergenerational Mobility and Children of Immigrants.*)

## 【報告書】

現代社会総合研究所ICT教育研究プロジェクト（松原聡・斎藤里美・藤井大輔・小河智佳子・筒井勝彦・宇佐美駿）『デジタル教科書の実証研究—先行導入した武雄市の事例を中心に—（武雄市「ICTを活用した教育」第四次検証報告書に代えて）』、2018年8月1日、pp.1-37.

## 【講演等】

1. 「武雄市「ICTを活用した教育」デジタル教科書までの8年」、関西ICT展、2018年8月3日.
2. 「学ぶ意欲とスキルを育てる」、福島県伊達市教育委員会主催講演会、2018年8月30日.

3. 「人工知能と自動翻訳の時代になぜ外国語を学ぶのか」、華中科技大学外国語学院日本語科20周年記念学術大会、華中科技大学外国語学院、2018年9月22日.

## &lt;教育活動&gt;

## 【学内】

- (学部) 学校教育社会学 (1部, 2部), 比較社会論 (1部), 教育学演習ⅡA/ⅡB (1部), 教育学演習ⅢA/ⅢB (1部), 教育学卒論ゼミナール, 教職総合演習 (2部),
- (大学院) 学校教育研究演習, 教育学研究指導Ⅳ(以上, 博士前期課程), 教育学特殊研究Ⅴ, 教育学研究指導(以上, 博士後期課程).

## &lt;大学・学部管理運営活動&gt;

1. 大学院文学研究科教育学専攻長
2. 大学院文学研究科委員会 委員
3. 国際教育センター「日本語・日本文化教育科目専門委員会」および「教員資格審査委員会」委員
4. 学修成果指標検討会議 委員
5. 東洋大学アジア文化研究所運営委員、研究年報編集委員
6. 東洋大学応援指導部 部長

## &lt;学会活動&gt;

1. 教育目標・評価学会 理事および紀要編集委員
2. 日本教育学会 会員
3. 日本教育社会学会 会員
4. 日本比較教育学会 会員
5. 日本教師教育学会 会員
6. 人工知能学会 会員

**下田好行**

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 下田好行「「個別化していく教育」におけるICTの役割—ブレンディッド・ラーニングの導入の可能性に焦点をあてて—」『東洋大学文学部紀要』第71集教育学科編XLⅡ、pp.33-41.
2. 下田好行「よりよき社会を創造する道德教育のあり方—「考え議論する道德」の向こう側にあるもの—」研究紀要No.47『「主体的・対話的で深い学び」の学習指導の改善と充実』日本教材研究文化財団、2018年3月、pp.89-98.



- 3 下田好行「特別活動と教育課程—「社会参画」「合意形成」「自己実現」の資質・能力の育成—」赤坂雅裕・佐藤光友編著『やさしく学ぶ特別活動』ミネルヴァ書房、2018年3月、pp.66-79.

#### 【その他】

- ・下田好行「創造性を発揮できない教師」『教育新聞』2018.6.14
- ・下田好行「展望らいぶらりい 田中統治・根津朋実編著 カリキュラム評価入門」教育調査研究所『教育展望』No.10、2018.10、p.56
- ・平成30年度版『子どもたちの読んでほしい本』厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財(厚生労働省)作成
- ・児童健全育成財団『平成30年度児童福祉文化賞』2018.5

#### 【研究発表】

- ・下田好行・青木照明・比嘉俊・榎原真洋「『主体的・対話的で深い学び』その深さをどう創るか—その2—」『日本教材学会第30回大会研究発表大会研究発表要旨集』福山大学宮地茂記念館、2018.10.21、pp.147-148.

#### 【講演】

- ・下田好行「新学習指導要領と『主体的・対話的で深い学び』—「考え議論する道徳」の先行実施を前に—」、2018.2.5 行田市立埼玉小学校

#### 【研究助成】

- ・科学研究費補助金基盤研究C「ホリスティックな視点に立ち道徳教育の研究」研究代表、日本学術振興会、2018.3まで

#### <教育活動>

#### 【学内】

(学部) 教育方法論(教育学科Ⅰ部:初等教育・人間発達、教育学科Ⅱ部) 教育方法研究(文学部、社会学部、経営学部) 教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ 教育学卒論ゼミナール 教職実践演習(中・高)

(大学院) 学習指導論研究演習 教育学研究指導Ⅷ

(通信) 教育実践演習(中・高)

#### 【学外】

- ・大正大学(教職課程)「教育方法論」2018年3月31日まで

#### <学会活動>

- ・日本教材学会 理事

- ・日本国語教育学会 理事
- ・関東教育学会 理事
- ・日本教材学会「主体的・対話的で深い学びをどう創るか」プロジェクト 委員長
- ・日本倫理道德教育学会 監査
- ・日本教育方法学会 会員
- ・日本特別活動学会 会員
- ・日本カリキュラム学会 会員
- ・日本教師教育学会 会員
- ・関東教育学会(第66回大会準備委員会 委員長)

#### <社会的活動>

- ・厚生労働省 社会保障審議会 福祉文化分科会 委員 出版物委員会 委員長
- ・平成29年度児童福祉文化賞審査委員(一般財団法人・児童健全育成推進財団)
- ・品川区立上神明小学校 校区教育協働委員会 委員長
- ・日本教材文化研究財団 評議員

## 篠崎 信之

#### <研究活動>

#### 【論文】

1. 篠崎信之(2018). 小学校におけるいじめ・不登校問題に対して教師がカウンセリング法から学べること—主として交流分析および関連する方法から— 東洋大学文学部紀要第71集教育学科編XLⅢ, pp.43-49.

#### 【その他】

1. 篠崎信之(2018). ミュリエル・ジェイムスとエリック・バーン TAAJ Newsletter Vol.109, pp.11-12.

#### <教育活動>

#### 【学内】

(学部) 教育相談の理論と方法(Ⅰ・Ⅱ部)、教育相談(Ⅰ・Ⅱ部)、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ(Ⅰ部)、教育学卒論ゼミナール(Ⅰ・Ⅱ部)、教育実習Ⅰ・Ⅱ(Ⅰ部)

(大学院) カウンセリング実習、臨床教育心理治療法特殊講義

(通信) 教育相談

#### 【講演】

1. 篠崎信之 教職課程におけるソーシャルスキルの育成—授業者の事例から—東京白山教育会 2018年10月28日

## &lt;大学・学部管理運営活動&gt;

1. 東洋大学教職センター副センター長
2. 通信教育委員会委員
3. 大学院文学研究科委員会委員
4. 人間科学総合研究所紀要編集委員会委員

## &lt;学会活動&gt;

1. The International Transactional Analysis Association (Regular Member、Certified Transactional Analyst)
2. 日本交流分析学会 (評議員、『交流分析研究』編集委員)
3. 日本TA協会 (理事)
4. 日本心理学会 (会員)
5. 日本パーソナリティ心理学会 (会員)
6. 日本健康心理学会 (会員)
7. 日本感情心理学会 (会員)
8. 日本キャリア教育学会 (会員)

## &lt;社会的活動等&gt;

1. ひらかわクリニック非常勤臨床心理士

## 鈴木 一成

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 「教科横断的な視点における共通感覚的学習の実践的検討」(渡辺行野、大熊誠二と共著)、東洋大学文学部紀要教育学科編、第43集
2. 「生物領域における問題把握の学習の実証的検証—シダ植物とコケ植物の生活環の授業実践—」(笈川宗子と共著)、東京学芸大学附属竹早中学校研究紀要、No.56、pp.19-24

## 【学会発表】

1. 「主体的・対話的で深い学びを支援する評価手法の実証的研究—パフォーマンス評価とIRT (項目反応理論) の比較—」(大熊誠二、渡辺行野、長谷川勝久と共同発表)、第17回臨床教科教育学セミナー
2. 「『科学的に探究する力』の育成を支援する評価の研究 (1) —パフォーマンス評価におけるルーブリック作成の視点について—」, 日本理科教育学会全国大会
3. 「『科学的に探究する力』の育成を支援する評価の研究 (2) —教師と子供による協働的なルーブリックの活用—」(竹田大樹と共同発表)、日本理科教育学会全国大会

## 【研究会報告・講演】

1. 鈴木一成、「児童・生徒の主体性を生かした授業への改善」(講師)、小中連携研究発表会、足立区立栗島小学校・栗島中学校、2018年2月21日
2. 鈴木一成、東京学芸大学附属竹早地区小中連携研究会 (講師)、2018年6月15日
3. 鈴木一成、「理科における深い学びの実践」、荒川区教育研究会理科部会、荒川区立尾久八幡中学校、2018年9月12日
4. 鈴木一成、「次期学習指導要領の概要主体的・対話的で深い学び (AL) の実現に向けて」、青梅市教育研究会理科部会、青梅市立霞台中学校、2018年10月24日

## 【その他】

1. 「粘着テープの発光」、理科の教育2018年2月号 (787号)、東洋館出版、pp.46-47

## 【学内】

(学部) 初等教育実践研究AA、初等教育実践研究AB、初等教科教育法 (生活)、初等科理科、教育実習I (事前・事後指導を含む)  
2、初等教科教育法 (理科)、教育学演習IIA12、教育学演習IIB12、教育評価  
(大学院) 環境教育論特殊講義、理科教育研究演習

## 【学外】

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本理科教育学会 (広報委員・査読委員)
2. 臨床教科教育学会 (査読委員)

## &lt;社会的活動等&gt;

1. 足立区立栗島小中学校連携研究会講師
2. 東京学芸大学附属竹早中学校授業研究会講師
3. 荒川区教育研究会理科部会講師
4. 青梅市教育研究会理科部会講師

## 須田 将司

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文等】

1. 「福島県教育会の終焉をめぐる動向—『福島県教育史』第3巻 (戦後編) の再検討—」『東洋大学文学部紀要』第71集教育学科編X L III、2018年3月、59~84頁
2. 「戦後神奈川県における教員団体再編の模索—占領下における教育「民主化」と職能向上をめぐる諸相—」『近現代日本教育会史研究』

不二出版、2018年3月、351～384頁

3. 『相馬市史』第7巻 資料編Ⅳ 近代・現代、2018年3月、212～232、469～498、701～758頁（第一章～第三章の「第四節教育」担当）
4. 「近代日本における＜国民教育制度＞の形成と展開」（シリーズ「未来の教育をつくる教職教養指針」第1巻・山崎準二編『教育原論（教育の歴史・思想・理念）』学文社、2018年11月、71～92頁）

#### 【学会発表】

1. 全国地方教育史学会第41回大会シンポジウム「教育史における個別史と全体史」（依頼）、名古屋大学、2018年5月27日

#### 【研究会報告・講演等】

1. 「21世紀を生きる子供たちに国語科で培いたい資質・能力」東京都文京区立明化小学校「文京区教育ビジョン・教科（国語）の授業地区公開講座」講演会、2018年1月27日
2. 日本教育学会「若手会員のための論文指導ワークショップ」講師、2018年3月17日
3. 「1950年代における教育研究所の姿—『全国教育研究所連盟十五年史』を手掛かりに—」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会、2018年3月29日
4. 「1950年代における教育研究所の在り方をめぐる諸相」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会、2018年6月1日
5. 「1950年代における教育研究所の存在意義—自治体立教育研究所と国立大学附属教育研究所に焦点を当てて—」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会、2018年9月7日
6. 「二宮尊徳の思想を用いた「報徳教育」とは」東洋大学全国講師派遣事業・秋田県由利本荘市旧大倉沢報徳館、2018年10月27日
7. 「1950年代における教育研究所の存在意義—自治体立教育研究所と国立大学附属教育研究所に焦点を当てて—」科研基盤（B）「近現代日本の地方教育行政と「教員育成コミュニティ」の特質に関する総合的研究」第2回研究会、2018年11月11日
8. 「教育研究所の実相に関する検討—関東地区連盟および神奈川県事例について—」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会、2018年11月30日

#### 【その他】

1. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（五）—1933（昭和8）年5月の第十回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第377号、2018年1月26日、3～5頁
2. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（六）—1934（昭和9）年4月の第十一回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第378号、2018年3月5日、2～3頁
3. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（七）—1935（昭和10）年6月の第十二回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第379号、2018年3月30日、8～9頁
4. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（八）—1936（昭和11）年11月の第十三回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第380号、2018年5月1日、2～4頁
5. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（九）—1937（昭和12）年11月の第十四回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第381号、2018年6月1日、3～5頁
6. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（十）—1938（昭和13）年9月の「協議会」の決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第382号、2018年7月6日、10～11頁
7. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（十一）—1939（昭和14）年11月の「協議会」の開催—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第383号、2018年8月3日、3～4頁
8. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（十二）—1940（昭和15）年10月の第十五回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第384号、2018年9月4日、8～9頁
9. 「若手会員のための論文指導ワークショップの記録「教育史」部会」日本教育学会『教育学研究』第85巻第3号、2018年9月30日、119～120頁

10. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（十三）—1940（昭和15）年10月の第十五回大会の答申・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第385号、2018年10月5日、3～5頁
11. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（十四）—1942（昭和17）年6月の全国協議会の協議・決議事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第386号、2018年10月26日、10頁
12. 「大正末～昭和戦時下における全国教化連合団体代表者大会の開催（十五）—1943（昭和18）年11月の全国協議会の協議・懇談事項—」近代日本教育史料研究会『かわら版』第387号、2018年11月30日、10頁

#### 【研究助成】

1. 日本学術振興会平成30～32年度科学研究費補助金（基盤研究B）「近現代日本の地方教育行政と「教員育成コミュニティ」の特質に関する総合的研究」（研究代表者）

#### <教育活動>

#### 【学内】

（学部）社会文化史（日本）（Ⅰ部・Ⅱ部）、教育史、教育基礎論、教育制度論、教育学演習Ⅱ・Ⅲ（Ⅰ部）、教育学演習Ⅱ／教育学卒論ゼミナール（Ⅰ部・Ⅱ部）、教育実習Ⅰ・Ⅱ（2部）、東洋大学・井上円了研究Ⅰ

（大学院）教育学特殊研究Ⅱ、比較教育史演習研究

（顧問）東洋大学居合道研修会

#### 【学外】

（立教大学文学部教育学科）教育学演習、教育史  
<大学・学部管理運営活動>

1. 文学部自己評価点検委員会（委員長）
2. 全学自己点検・評価活動推進委員会（委員）

#### <学会活動>

1. 教育史学会（会員）
2. 日本教育学会（会員）
3. 全国地方教育史学会（常任幹事）
4. 日本教育史研究会（世話人）
5. 日本教育史学会（幹事）
6. 日本教師教育学会（会員）
7. 日本社会科教育学会（会員）
8. 関東教育学会（会員、第66回大会準備委員会事務局長）

9. 福島大学教育学会（会員）

#### <社会的活動等>

1. 福島県南相馬市「原町市史編さん事業」専門研究委員
2. 福島県相馬市「相馬市史編さん事業」近代・現代部会調査執筆委員
3. 公益財団法人野間教育研究所兼任研究員（「1950年代教育史」研究部会）
4. 文京区立明化小学校学校評価委員長

## 関 直 規

#### <研究活動>

#### 【著書・論文等】

1. “A Comparative History of Adult and Community Education in Interwar Metropolises: Lifelong Learning Opportunities for Urban Residents by the Municipality of Tokyo and London County Council”（単著）、『東洋大学文学部紀要』第72集、教育学編XLⅢ、2018年3月、pp.85-99。
2. 「1920年代東京における音楽の民衆化と都市住民の音楽教育活動—東京市の「市民音楽」事業を中心に—」（単著）『東洋大学大学院紀要』第54集、2018年3月、pp.329-342。

#### 【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究（C）（研究代表者関直規）「学習支援体制の構築における地域人材の発掘・活用に関する日英比較史研究」（16K04568）（2016年度～2018年度）。

#### 【その他】

1. 「社会教育主事養成改革の方向性」（単著）『2017年度教育学演習Ⅱ・Ⅲ 社会教育学研究成果報告書』第9号、2018年1月。
2. 「家庭教育向上のための仕掛けづくり—地域全体で家庭を支援するために—」（共著）、社会教育委員会議審議のまとめ、所沢市社会教育委員会議、2018年8月。

#### <教育活動>

#### 【学部担当授業科目等】

（学部）「教育学演習Ⅰ」（第1部人間発達専攻、初等教育専攻）、「教育学演習Ⅱ・Ⅲ」（第1部）、「教育学卒論演習」（第1部・第2部）、「社会教育計画論Ⅰ・Ⅱ」（第1部・第2部）、「文化地誌学」（第1部・第2部）、



「東洋大学・井上円了と社会教育」(文学部基盤教育科目、東洋大学・井上円了研究1、矢口悦子等と共同担当)、「私学の役割と目的—人間教育の担い手—」(総合VⅢA1 日本の近代化と東洋大学—井上円了の哲学と実践—、校友会寄附講座、渡辺章悟等と共同担当)

(大学院)「生活文化研究演習A・B」、「教育学研究指導XVIA・B」

<大学・学部管理運営活動>

1. 文学部カリキュラム検討委員会委員

<学会活動>

1. 日本教育学会 (会員)
2. 日本社会教育学会 (会員、ジャーナル編集委員、6月集会担当校)
3. 日本公民館学会 (会員)

<社会的活動等>

1. 所沢市社会教育委員
2. 所沢市教育振興基本計画審議会委員
3. 朝霞市男女平等推進審議会委員
4. 「所沢市つなぐミーティング 親子が安心して入学を迎えるために—子どもの自立をサポートするためには—」司会 (於所沢市小手指公民館分館ホール、2018年3月27日)
5. 東洋大学講師派遣事業「人生100年時代の生涯学習の創造」(市民大学きたもと学苑オープンカレッジ大学公開講座)、東洋大学・北本市・北本教育委員会共催 (於北本文化センター)、2018年11月10日。
6. 東洋大学講師派遣事業「人生100年時代の生涯学習の創造」、座間市立東地区文化センター主催 (於座間市立東地区文化センター)、2018年12月14日。

## 高野 聡 子

<研究活動>

【著書】

1. 第5章第1節 初期精神薄弱児施設における理念と実践 (2018) 中村満紀男編著『日本障害児教育史：戦前編』411-444, 明石書店。
2. 第8章6節 (3) 精神薄弱幼児教育の着手：異常児保育室 (2018) 中村満紀男編著『日本障害児教育史：戦前編』759-760, 明石書店。
3. 第10章第1節 少数の私立精神薄弱児施設の設置と教育・生活の統合的形態の導入および

戦争 (2018) 中村満紀男編著『日本障害児教育史：戦前編』1008-1030, 明石書店。

【学会発表】

1. 高野聡子 (2018) 日本の特別支援教育に関する英文論文の動向：2007年以降の日本特殊教育学会英文機関誌掲載論文を中心として。日本特殊教育学会第56回大会発表論文集 (2018年9月)

【研究助成】

1. 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) (2015—2018年度)「日本型インクルーシブ教育のグローバルスタンダードへの積極的アプローチとその戦略」(研究代表者：高野聡子)

【講演等】

1. 埼玉県立和光特別支援学校研修会講師 (平成30年1月26日)
2. 第57回全日本特別支援教育研究連盟全国大会 (名古屋大会) 分科会 (交流及び共同学習) 助言者

<教育活動>

(学部) 知的障害教育総論、知的障害教育課程論、知的障害教育論、特別支援学校教育実習、教育学演習Ⅰ、教育学演習ⅡA・B、教育学演習ⅢA・B、教育学卒論ゼミナール  
(大学院) 心理適応論特殊講義A・B (英語開講)、教育学研究指導XVII A・B

<学会活動>

1. 障害科学学会 (会員)
2. 日本職業リハビリテーション学会 (会員)
3. 社会事業史学会 (会員)
4. 日本社会福祉学会 (会員)
5. 日本特殊教育学会 (会員、常任編集委員)

<社会的活動>

1. 荒川区障がい者総合プラン策定委員 (平成30年3月まで)
2. 社会福祉法人藤倉学園評議員
3. 社会福祉法人彩会評議員
4. 全日本特別支援教育連盟研究部員
5. 社会福祉法人藤倉学園職員研修アドバイザー

## 滝川 国 芳

<研究活動>

【著書】

1. 滝川国芳 (2108) (共著) 病弱・虚弱児の医療・療育・教育 改訂3版, 金芳堂, 2018年11月。



担当部分「6章 病弱・身体虚弱児の学校教育 4 病弱・身体虚弱児の学校教育 1. 小学校, 中学校, 高等学校における病弱教育」pp.198-202.

2. 滝川国芳 (2108) (共著) 病弱・虚弱児の医療・療育・教育 改訂3版, 金芳堂, 2018年11月. 担当部分「6章 病弱・身体虚弱児の学校教育 4 病弱・身体虚弱児の学校教育 4. 病院にある学校における教育」pp.218-222.

#### 【学会発表】

1. 西朋子・檜垣高史・檜木暢子・滝川国芳 (2018) 病気の子どもの学習支援 ―小児慢性特定疾病児童等自立支援事業での取り組みから―, 日本育療学会第22回学術集会抄録集, 26頁. (2018年8月26日)
2. 岩井大樹・滝川国芳 (2018) 特別支援学校 (肢体不自由) の小学校に準ずる教育課程におけるAT、ICTを活用した分かりやすい授業づくりの検討―児童の自発性を育むために―, 日本特殊教育学会第56回大会, P3-52. (2018年9月23日)

#### 【その他】

1. 第59回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会茨城大会「分科会 (センター的機能)」, 助言者, つくば国際会議場. (2018年8月2日)

#### 【研究助成】

日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 「看護系大学における慢性疾患の学生の支援体制構築の検討」 (研究代表者 河合洋子) 研究分担者, 2015―2017年度.

#### 【講演等】

1. 「特別な支援を必要とする児童生徒への学習状況、コミュニケーションの改善のための指導内容・指導方法」, 墨田区教育委員会, 講演. (2018年1月30日)
2. 「病弱教育におけるICT活用の意義と実際」, 青森県教育委員会, 講演. (2018年2月19日)
3. 「特別支援学校 (知的障害) における生徒の意欲を高める授業実践―主体的・対話的で深い学びを目指して―」, 東京都立青島特別支援学校, 講演. (2018年2月22日)
4. 「病弱部門のある特別支援学校の現状と課題」, 長崎県立諫早東特別支援学校, 講演. (2018年2月23日)
5. 「特別支援学校 (病弱) におけるICT活用」,

神奈川県立横浜南養護学校, 講演. (2018年3月20日)

6. 「病弱教育における新学習指導要領に対応する取組について―主体的・対話的で深い学びを目指して―」, 埼玉県立けやき特別支援学校, 講演. (2018年5月25日)
7. 「病弱教育における新学習指導要領に対応する取組について―主体的・対話的で深い学びを目指して―」, 第54回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究発表大会福井大会, 記念講演. (2018年7月27日)
8. 「病弱教育における現状と課題―発達障害や精神性疾患の児童生徒の教育支援のために―」, 石川県立医王特別支援学校, 講演. (2018年8月24日)
9. 「これからの特別支援教育について―特別支援学校 (知的障害) における児童生徒の意欲を高める授業のために―」, 大阪府立東淀川特別支援学校, 講演. (2018年8月28日)
10. 「特別支援学校における今日的課題」, 石川県特別支援学校教頭・副校長研修会, 石川県立医王特別支援学校, 講演. (2018年8月30日)
11. 「病弱教育における支援と対応について」, 沖縄県立森川特別支援学校, 講演. (2018年9月7日)
12. 「ICTを活用した教育実践」, 埼玉県立けやき特別支援学校, 講演. (2018年9月14日)
13. 「病気を抱えた子どもたちの保育・教育について」, 福井県小児慢性特定疾病児童等自立支援相談所保護者交流会, 福井県生活学習館 ユー・アイふくい, 講演. (2018年10月28日)

#### <教育活動>

#### 【学内】

- (学部) 特別支援教育概論Ⅰ (第1部・第2部)、特別支援教育概論Ⅱ (第1部・第2部)、病弱児の指導法 (第1部)、教育学ゼミナールⅠ (第1部)、教育学ゼミナールⅡA (第1部)、教育学ゼミナールⅡB (第1部)、教育学卒論ゼミナール (第1部・第2部)、特別支援学校教育実習、
- (大学院) 発達障害児教育研究特殊講義A、発達障害児教育研究特殊講義B、教育学研究指導ⅡA、教育学研究指導ⅡB、教育学特殊研究ⅡA・教育学特殊研究ⅡB、教育学研究指ⅥA、教育学研究指

## 導VI B、

## 【学外】

1. 東京慈恵会医科大学医学部非常勤講師
2. 関東学院大学大学院看護学研究科非常勤講師
3. びわこ学院大学教育福祉学部非常勤講師

## &lt;大学・学部管理運営活動&gt;

東洋大学人間科学総合研究所研究員

## &lt;学会活動&gt;

1. 日本育療学会（副理事長・事務局長・編集委員）
2. 日本特殊教育学会（会員・常任編集委員）
3. 日本LD学会（会員）
4. 日本小児保健協会（会員）
5. 日本特別ニーズ教育学会（会員）
6. 日本学校保健学会（会員）

## &lt;社会的活動等&gt;

1. 埼玉県教育委員会免許法認定講習講師（病弱教育総論）
2. 福井県教育委員会免許法認定講習講師（病弱・身体虚弱者教育総論）
3. 広島県教育委員会免許法認定講習講師（病弱者の教育課程及び指導法）
4. 沖縄県教育委員会免許法認定講習講師（病弱者教育総論）
5. 東京都立墨田特別支援学校学校運営連絡協議会委員長
6. 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク運営委員
7. 公益財団法人博報児童教育振興会博報財団博報賞特別支援教育部門審査委員

## 谷口明子

## &lt;研究活動&gt;

## 【論文】

1. 谷口明子（2018）. 病弱教育におけるレジリエンス. 育療, 63, pp.2-9（2018年3月）
2. 谷口明子（2018）. 病気の子どもと院内学級における発達支援 宮川充司他（編）『スクールカウンセリングと発達支援（改訂版）』ナカニシヤ出版（2018年3月）

## 【翻訳】

1. 谷口明子（訳）（2018）. 構造化と実践の理論—権力という枠組のなかでの二元論を超えて— 箕浦康子（監訳）質的研究のための理論入門—ポスト実証主義の諸系譜. pp.204-

234ナカニシヤ出版（Prasad, P. (2005). *Crafting Qualitative Research : Working in Postpositivist Traditions*. ME.Sharpe:New York）（2018年1月）

## 【学会発表】

1. 谷口明子・浦野正敬・田島圭佑他（2018）. 病弱児に必要な「コミュニケーション力」再考—病弱教育において育てたいコミュニケーション力とはどのようなものか. 日本特殊教育学会第56回大会発表論文集, P7-48（2018年9月）
2. 堀口眞理・谷口明子（2018）. レジリエンス理論の病弱教育への応用可能性. 日本特殊教育学会第56回大会自主シンポジウム話題提供, 自主シンポジウム5-14（2018年9月）
3. Tsuchiya, M., Fujisawa, D. Taniguchi, A., et al. (2018) Fatigue, psychological burden, and need for understanding at workplaces as factors of disclosing cancer status during first-time job seeking. The 20<sup>th</sup> World Congress of Psycho-Oncology and Psychosocial Academy. (Hong Kong) (2018年10月)

## 【その他】

1. 谷口明子（2018）. 「学習障害」「仮説」「仮説検証型」「仮説生成型」「適応」「発達支援」「文献レビュー」「メモ書き」. 能智正博他（編）質的心理学辞典. 新曜社

## 【研究助成】

1. 科学研究費基盤研究（C）（2016年度—2018年度）「ゲーミングを活用した病弱教育におけるキャリア発達支援プログラム（改訂版）の開発」（研究代表者）,

## 【講演等】

1. 品川区立品川学園校内研修会講演, 2018年1月31日
2. 東京都立北特別支援学校病弱部門平成28年度実践報告会講演, 2018年2月9日
3. 品川区立品川学園校内研修会講演, 2018年2月21日
4. NPO法人ポケットサポートスタッフ研修講演会コーディネーター, 2018年2月25日
5. 東京都立鹿本学園校内研究会講演・指導助言, 2018年3月14日
6. 東京都立鹿本学園校内研究会講演・指導助言,

2018年6月8日

7. 都立北特別支援学校病弱部門授業力向上研修会講演, 2018年7月30日
8. 第59回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会・総会「進路指導・キャリア教育」分科会助言, 2018年8月2日
9. 川越市教育委員会「進路指導・キャリア教育研修会」(東洋大学全国講師派遣事業) 2018年8月23日
10. 福島県立会津特別支援学校竹田分校校内研修会講演, 2018年8月24日
11. 東京都立鹿本学園校内研究会講演・指導助言, 2018年10月5日
12. NPO法人ポケットサポートスタッフ研修ファシリテーター, 2018年12月1日

#### <教育活動>

#### 【学内】

- (学部) 大学生として学ぶ (I 部), 教育学演習 II (I 部), 教育学ゼミナール II (I 部), 教育心理学概論 (I・II 部), 生涯発達心理学 (I・II 部), 教育学卒論ゼミナール (I・II 部), 教育評価 (全学)
- (大学院) 教育心理学特殊講義, 生徒指導・進路指導特殊講義, 教育学研究指導X II, 教育学特殊研究Ⅲ, 教育学研究指導Ⅲ

#### 【学外】

- (学部) 学習院大学教職課程「教育相談」
- (学部) 立教大学文学部教育学科「教育臨床心理学」
- <学会活動>

1. 日本教育心理学会 (学会誌編集委員, 優秀論文選考委員)
2. 日本育療学会 (理事・編集委員)
3. 日本質的心理学会 (監事)
4. 日本発達障害支援システム学会 (学会誌編集委員)
5. 日本発達心理学会 (会員)
6. 日本小児保健学会 (会員)
7. 日本特殊教育学会 (会員)
8. 日本健康心理学会 (会員)
9. 日本キャリア教育学会 (会員)
10. 日本医療保育学会 (会員)
11. American Psychological Association (会員)
12. International Psycho-oncology Society (会員)

#### <社会的活動等>

1. 文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委

員 (～10月31日まで)

2. 東京都立北特別支援学校 学校運営協議会委員 (～現在に至る)
3. 東京都立光明学園 学校運営協議会委員 (～現在に至る)

### 長谷川 勝 久

#### <研究活動>

#### 【論文】

1. 廣瀬 隆司、長谷川 勝久、斎藤 昇、西澤智 (2018): 「図形領域における児童の審美性認識と概念的知識及び手続き的知識の関係—第4学年と第5学年に焦点をあてて—」, 数学教育学会誌Vol.59/ No.3・4, 印刷中
2. 廣瀬 隆司、長谷川 勝久、斎藤 昇、西澤智 (2018): 「図形領域における数学的価値としての児童の審美性認識に関する授業実践の効果—第5学年の正多角形・円周率・立体図形の指導に焦点をあてて—」, 数学教育学会誌Vol.59/ No.3・4, 印刷中
3. Takasi Hirose, Katsuhisa Hasegawa, Noboru Saito (2018): “Development of Effective Method of Instruction for Multiplication and Division of The Decimal: Focusing on 5th Grade Students, International Journal of Research on Mathematics and Science Education, pp.19-28

#### 【著書】

1. 斎藤昇, 秋田美代, 小原豊 (2018): 『子どもの学びを深める新しい算数科教育法』, 長谷川勝久: 「第2章 数と計算 1 数と計算領域の目標、内容、課題」, 東洋館出版, pp.25-31.

#### 【学会発表等 (学会シンポジウム提案を含む)】

1. 宇佐美俊, 長谷川 勝久 (2018): 「階層的有向グラフの交差数を減らすアルゴリズムの開発」, 日本教育工学会第34回全国大会発表論文集, pp.847-848
2. 佐久間 大, 高石 哲巳, 畠野 真理子, 今井智貴, 長谷川 勝久, 室田 真男 (2018): 「授業の成立が困難な状況を想定した模擬授業の演技の評価」, 日本教育工学会第34回全国大会発表論文集, pp.825-826

#### <教育活動>

## 【学内担当授業科目等 (学部・大学院)】

(学部)

・国内特別研究による免除

(大学院)

1. 教育学研究指導Ⅲ A・B

&lt;大学・学部管理運営活動&gt;

国内特別研究による免除

&lt;主な所属学会&gt;

1. 日本教育工学会 (会員)
2. 教育システム情報学会 (会員)
3. 日本数学教育学会 (会員)
4. 数学教育学会 (会員)
5. 全国数学教育学会 (会員)
6. 日本科学教育学会 (会員)
7. 教育目標・評価学会 (会員)
8. 日本教育実践学会 (会員)

他

## 藤 本 典 裕

&lt;研究活動&gt;

【著書】

【論文】

1. 子どもの貧困とく教育への権利> 『教育原論』山崎準二編著、学文社、2018年11月15日、pp.144-163

【その他】

【講演等】

1. 「たかがアニメの教育学」 藍住町教育委員会、2018年9月19日、於藍住町町民シアター
2. 「たかがアニメの教育学」 羽咋市市民活動支援センター、2018年9月29日、於コスモアイル羽咋口トンダ
3. 「たかがアニメの教育学」 井原市教育委員会、2018年11月10日、於アクティブライフ井原

【学会活動】

日本教育学会 (会員)、日本教育行政学会 (会員)、日本教育法学会 (会員)、日本教師教育学会 (会員)、日本教育政策学会 (会員)

&lt;教育活動&gt;

(学内) 教職論 (Ⅰ部0.5コマ、Ⅱ部0.5コマ)、教育基礎論 (Ⅰ部0.5コマ)、教育制度論 (Ⅰ部0.5コマ)、教職概論 (Ⅰ部0.5コマ)、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ・卒論ゼミナール (Ⅰ部1コマ、Ⅱ部1コマ)、教育基礎論Ⅰ (通信教育課程、0.5コマ)、教育行財政学特殊講義・教育学研究指導 (大学院博士前期、

1コマ)、教育学特殊研究・教育学研究指導 (大学院博士後期、1コマ)

(学外) 教育原論 (立教大学、0.5コマ)、教育制度論・教育課程論 (立教大学、0.5コマ)、教育学 (法政大学、0.5コマ)

&lt;社会的活動&gt;

&lt;大学・学部管理・運営活動&gt;

## 矢 口 悦 子

&lt;研究活動&gt;

【論文】

1. 「生涯学習では哲学や歴史学をどのように学んできたか—生と死の学習で「哲学」し、自分史づくりで「歴史」を書く成人学習者—」『国際哲学研究』7号、東洋大学国際哲学研究センター編、2018年、pp.41-49。

【その他】

1. 「若者の自立を支える夜間部教育—東洋大学の場合」『大学時報』日本私立大学連盟、No.378、2018年、pp.32-37。
2. 書評 鈴木敏正著『将来社会への学び 3.11後社会教育とESDと「実践の学」』『社会教育学研究』第54巻、日本社会教育学会、2018年、pp.136-138。

【講演等】

1. 趙町学園女子高等学校 高大連携講座「文学部で学ぶ」講師、2017年4月28日。
2. 岐阜県市町村保健活動協議会研修会「地域で生きるための基盤づくりと保健師活動」講師、2018年9月18日。
3. 浦安市職員研修会「これからの男女共同参画社会に向けて—男女共同参画の現状と課題—」2018年10月15日。

&lt;教育活動&gt;

【学内担当授業科目等】

(学部) 生涯学習概論Ⅰ (1部)、同Ⅱ (1部)、教育学演習Ⅰ・Ⅱ A/B (1部)、卒論ゼミナール (1部・2部)、初等科家庭 (1部)、東洋大学・井上円了研究 (1部・2部)、伝統文化講座 (1部・2部)

(大学院) 生涯学習計画の特殊講義 A/B (博士前期課程)、教育学研究指導Ⅰ A/B (博士前期課程)、教育学特殊研究Ⅰ A/B (博士後期課程)、教育学研究指導Ⅰ A/B (博士後期課程)

<大学管理運営活動等>

1. 文学部長
2. 大学院文学研究科委員
3. 東洋大学評議員
4. その他 役職上の委員：省略

<学会活動>

1. 日本社会教育学会（会員）
2. 日本教育学会（会員）
3. 日英教育学会（会員）
4. 日本公民館学会（会員）

<社会的活動等>

1. 一般財団法人日本青年館評議員
2. 千葉県浦安市男女共同参画審議会議長